

みずほCustomer Desk Report 2022/04/07 号 (As of 2022/04/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	123.90
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	123.65	1.0905	134.93	1.3076	0.7586
SYD-NY High	124.05	1.0938	135.43	1.3107	0.7593
SYD-NY Low	123.46	1.0874	134.76	1.3046	0.7487
NY 5:00 PM	123.79	1.0895	134.87	1.3069	0.7509
NY DOW	34,496.51	▲ 144.67	日本2年債	-0.0400	0.00bp
NASDAQ	13,888.82	▲ 315.35	日本10年債	0.2400	3.00bp
S&P	4,481.15	▲ 43.97	米国2年債	2.4817	▲ 4.14bp
日経平均	27,350.30	▲ 437.68	米国5年債	2.6880	▲ 1.52bp
TOPIX	1,922.91	▲ 26.21	米国10年債	2.5966	4.32bp
シカゴ日経先物	27,150.00	▲ 415.00	独10年債	0.6455	3.70bp
ロンドンFT	7,587.70	▲ 26.02	英10年債	1.7025	5.00bp
DAX	14,151.69	▲ 272.67	豪10年債	2.9740	17.30bp
ハンセン指数	22,080.52	▲ 421.79	USDJPY 1M Vol	9.33	0.20%
上海総合	3,283.43	0.71	USDJPY 3M Vol	8.91	0.24%
NY金	1,923.10	▲ 4.40	USDJPY 6M Vol	8.70	0.23%
WTI	96.23	▲ 5.73	USDJPY 1M 25RR	0.11	Yen Put Over
CRB指数	293.141	▲ 5.01	EURJPY 3M Vol	10.49	0.19%
ドルインデックス	99.60	0.13	EURJPY 6M Vol	10.18	0.18%

東京	東京時間のドル円は123.65レベルでオープン。前日からの流れを引き継ぎ米10年債利回りが上昇する中、ドル円は124.05まで上げ幅を拡大。その後124円台では利食い売りが持ち込まれドル円は123.60円台まで急落する場面も見られたが、一巡後は値を戻し、結局123.90レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は123.90レベルでオープン。米連邦公開市場委員会の発表を控え様子見ムード。ポジション調整にドルの売り買いが交錯し、終始方向感に欠ける動きとなった。123.86レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は123円台半ばでスタート。前日のプレイトードFRB理事の効率的な発言を受けて、アジア時間でも米10年債利回りの上昇が続く中、ドル円も買い優勢で一時124.05まで上昇。その後も124円手前で底堅く推移し、123.86レベルでNYオープン。本日14時公表予定のFOMC議事録で資産縮小のペースや規模について言及されることが注目される中、朝方は123円台後半でレンジトレード。その後、イレミ財務長官が米外院金融サービス委員会で証言するも、特段目新しい発言は見当たらず、市場は反応薄。午後公表されたFOMC議事録では「多くのメンバーが1回以上の50bp利上げが正当化されたと指摘」、「資産縮小の限度は月950億ドルが適切となりそう」となど伝わる中、公表直後は買いで反応するも、その後は米金利の急低下を受けて、安値123.46まで急落。しかし、FOMCメンバーの利上げやバランスシート縮小に対する前向きな姿勢が伝わる中、ドル売りは長続きせず、すぐに123.80近辺まで値を戻す。終盤は小動きとなり、123.79レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09円前半でスタート。米金利上昇が重しとなり1.0879まで下押しする場面もあったが、その後は持ち高調整の買いが入り、1.0928まで反発し、1.0918レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、1.0938まで買われるもイベント前の調整が入り1.0900近辺まで反落。FOMC議事録の公表後は買いで反応するも、米長期金利が2.6%台を回復する動きを横目に再び1.0879まで売り込まれた。終盤はじりじりと買い戻され、結局、1.0895レベルでクローズ。

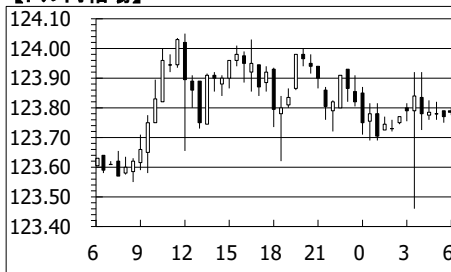
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月6日	18:00	欧米	PPI(前月比/前年比) 2月 1.1%/31.4%	1.2%/31.6%
	-		FOMC議事要旨	「多くの参加者が50bp利上げ指示もウクライナ問題で25bp利上げに修正」

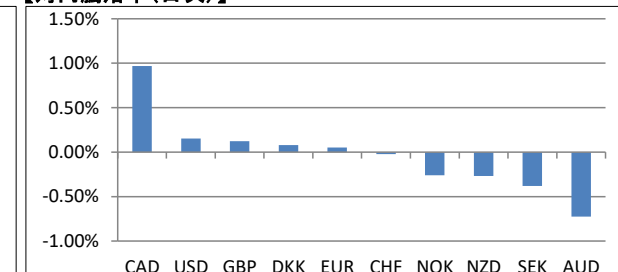
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月7日	10:30	豪	貿易収支	2月 A\$11650m A\$12891m
	14:00	日	景気一致指数・速報	2月 95.5 95.6
	18:00	欧	小売売上高(前月比)	2月 0.5% 0.2%
	20:30	欧	ECB議事要旨	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	2-Apr 200k 202k
	22:00	米	ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-
4月8日	03:00	米	エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	123.50-124.30	1.0850-1.0930	134.50-135.50

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は123円台後半での小動き。昨日の流れを引き継ぎ米金利とともに底堅い推移となり一時124.05を付けるもその後は利食い等もありFOMCを前に動意に欠ける展開となり海外時間に渡った。海外時間のドル円は注目のFOMC議事録でサプライズはなく、買いで反応されるもその後は米金利の低下とともに123.50割れの水準まで下落。その後は値を戻し123.79レベルでクローズ。

本日のドル円も底堅く推移するも上値は限定的を予想。

昨日発表されたFOMC議事録の中ではサプライズはなかったものの、FRBの金融引き締めに対する意思を確認できる内容となった。日米の金融政策の違いに伴う金利差からドル円は底堅さを維持すると予想できるも、昨日も124円で反発されており、上値は限定的か。また、FRB高官らの発言も多く予定されている為、それぞれのスタンスに注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。